

## 地域文化学科の学生による研究発表



4. 中国のエコミュージアム



2. 地域博物館プロジェクト



1. 長浜曳山祭の調査

1. 県大生が見た長浜曳山祭 - 伝統行事を支える人々
2. 地域博物館プロジェクト
3. 美濃金山城跡の発掘調査
4. 中国広西チワン族自治区のエコミュージアム

日時：2018年7月21日、22日とも 10:30-11:30

場所：交流センター研修室1、2、3



3. 美濃金山城跡の発掘調査

地域文化学科では、地域社会の歴史と文化を学び地域の未来を拓く方法を考えます。学びの最大の魅力は、国内外で行うフィールドワークです。

現地調査によって、学びの世界は大きく広がります。オープンキャンパスでは活動・研究の成果を、学生がポスターセッションの形式で発表します。

**裏も見てね**

# 学生による研究発表の内容

こんなフィールドワーク  
やっています！

## 1. 県大生が見た長浜曳山祭ー伝統行事を支える人々

武田ゼミでは毎年、400年以上の歴史を誇る長浜八幡宮の春の例大祭「長浜曳山祭」の調査をしています。曳山の舞台の上で行われる「子ども歌舞伎」をはじめ、数多くの見どころを誇る豪華絢爛な祭りを支える町衆たちの姿、そして祭にかける想いをレポートします。

## 2. 地域博物館プロジェクト

「近江楽座」とは、県立大学の学生が大学の支援を受けながら、社会貢献活動に取り組むプロジェクトです。その一つ、地域博物館プロジェクトでは、これまで高島市マキノ町で古民家を生かした地域の博物館作りに関わったり、米原市甲賀での民具調査に従事したりしてきました。近年では、他の博物館にも認知され、県内の博物館の共同イベントである「博物館夏祭り」にも参加しています。発表ではその活動内容について具体的に報告します。

## 3. 美濃金山城跡の発掘調査

考古学を専攻する中井ゼミでは、2017年度より岐阜県可児市に所在する、国史跡金山城跡の発掘調査をおこなっています。金山城は織田信長の家臣森可成によって石垣造りの城郭として改修された典型的な織豊系城郭です。発表では2017年に実施した天守台発掘調査の経過を報告します。

## 4. 中国広西チワン族自治区のエコミュージアム

横田ゼミでは主に東アジアの民族の文化についてフィールドワークを交えて研究しています。エコミュージアムとは、その地域の生活をそのまま展示している「博物館」のようなもので中国では「生態博物館」と呼ばれています。生活や文化を理解し継承することに意義があり、中国ではエコミュージアムの動きが盛んです。今回は2017年9月に実習で訪れた中国の広西チワン族自治区のエコミュージアムについて具体的に紹介します。